

通信「ちえふる」2月号

「学ぶ」ということ



1 学ぶことは人生を豊かにしてくれる営み

「明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ」これは、インドに独立をもたらしたマハトマ・ガンジーの言葉です。「生きる姿勢」と「学びの重要性」を端的に表現しています。

生きるとは学び続けること。学び続けるとは、よりよく生きること。よりよく生きるとは、自己実現に通じ生きがいのある人生を歩むことにつながっていきます。言い換えれば「学び」とは、人生を豊かにするための営みであり「一生学び続けること」は、未来への希望、生きる欲求を満たしてくれることになるのです。

学ぶことの大切さについては、さまざまな分野で活躍している人が述べています。その中から3名の方の言葉を紹介합니다。学びに対する自分の考えや思いと比べながらご覧ください。

2 エッセイスト岸本洋子さんの考え

就職後、会社を辞めて中国に留学するなど、海外を旅していろいろな物差しを持ち、より生きやすくなった。生きていくために物差しをたくさん持つことが学ぶ意味だと思う。その時、役立つのが教科書で学んだこと。教科書は物事を様々な面から考えるための基礎になる知識が数多く詰まっている。押し付けられるのは嫌だ、というだけで、経験の機会を拒むのは惜しい。自分を形作る時、他人を否定する過程はどうしても通るが、否定しても心を完全に閉ざさずに心の目を開きたい。親や教師や友達に対し「自分のことなんか分かるはずがない」と決めつけず、機会があれば拒まずに経験することも、出口につながる可能性がある。



3 ポップスピアニストハラミちゃんの考え

子どものころはずっと「何で勉強するのか」と思っていた。今思うのは、勉強すれば人生の選択肢が増える。向き不向きが分かる。人生で起きる困難を乗り越える力も付く。人生に無駄はない。全国ツアーで神社やお寺を観光すると、歴史を知っていれば理解度が違う。国語をもっと勉強していれば交流サイト(SNS)で感謝を伝える時、いい言葉が出たのにと反省する。「経験は冷凍保存される」というのが私の持論。必要な時に解凍できるけど、入れてないと出せない。「種まき」ともよく言う。いつの間にか育って大きな花が咲いていた、みたいになる。特にわくわくした経験はよく記憶しておくことがすごく大事。



4 精神科医香山リカさんの考え

今は勉強なんて無駄だと思うかもしれない。でも、分からなかったことが分かり、自分の世界が広がる経験することは大事。「本当かな」「この先どうなるの」と考えながら学ぶ経験は頭の中の世界を広げる練習になる。それに、学べば参考にできるネタが増える。インターネットがあっても検索のワードを知らないとは調べられない。

今は嫌いでもいつか興味をもつかもしれない。私は、日本史が苦手だったけど、急に興味が出て学び始めた。そんな風にも変わることもある。

私は10代の時、大学受験で失敗したから人生はこれでおしまいだ、とよく思っていたけど、長生きすると、こんな形で夢に近づくこともあるのかと今、不思議に思う。受験に役立たないとか、こんな仕事ができるわけがないと思わず、少しでも好きになったことを数多く見聞きしてほしいと自分の経験から思う。



人生100年時代を迎え、最近は「リスクリング(学び直し)」や「リカレント教育」という言葉を耳にします。3人の考えは「今」を生きる私たちに「学ぶこと」と「生きること」は表裏一体であり、後悔しない生き方をするために、素直な心で学び続けることが大切であるということを教えてくれているように思います。

学習支援室の情報についてはQRコードからもアクセスできますので、ご覧ください。

